

# 水産多面的機能発揮対策事業

【令和3年度予算概算要求額 3,000 (2,299) 百万円】

## <対策のポイント>

環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援するとともに、漁業者自らによる資源管理の取組を支援します。

## <政策目標>

- 環境・生態系の維持・回復（対象水域での生物量を20%増加 [令和7年度まで]）
- 安心して活動できる海域の維持（環境異変等への早期対応件数の割合を20%増加 [令和7年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

1. 漁業者等が行う、水産業・漁村の多面的機能の発揮や資源管理に資する以下の取組を支援します。

### ① 環境・生態系保全

#### ア 水域の保全

藻場、サンゴ礁の保全、魚介類の放流等の活動を支援します。

#### イ 水辺の保全

干潟、ヨシ帯の保全、内水面の生態系の維持・保全、漂流漂着物の回収・処理等の活動を支援します。

### ② 海の安全確保

国境・水域の監視、海の監視ネットワーク強化、海難救助等を支援します。また、これらの活動に必要な資機材の購入を支援します。

### ③ 資源管理推進

漁業者自らによる資源管理の前提となる水産資源の調査等を支援します。

2. 上記の取組（③を除く）について

① NPO等他主体との連携に取り組む活動組織や、複数の活動組織による**広域連携の取組**を支援します。

② 多面的機能の**国民に対する理解の増進**を図る活動組織を支援します。



藻場の保全（ウニの駆除）



漂流漂着物の回収・処理



ヨシ帯の保全



干潟等の保全（干潟の耕うん）

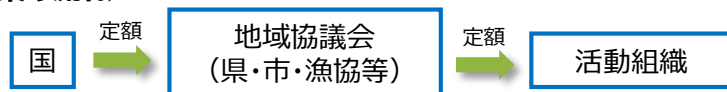


災害時の流木の回収・処理



国境・水域の監視

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】水産庁計画課（03-3501-3082）

## <対策のポイント>

漁港のストック効果の最大化を図りつつ、漁村の活力を高めていくとともに、水産改革に即した水産業の成長産業化に向け、**就労環境の改善、漁港利用者の安全性の向上、漁港施設の有効活用等**に加えて、**新たに水産物の流通高度化や漁港の災害対応力の強化**に資する整備を支援します。

## <事業目標>

- 水産物の流通・生産拠点となる漁港のうち、就労環境を改善した漁港の割合（51% [平成28年度] →60% [令和3年度まで]）
- 老朽化に対して施設の安全性が確保された漁港の割合（66% [平成28年度] →おおむね100% [令和3年度まで]）

## <事業の内容>

漁港の機能増進を図るため、以下の施設整備等を支援します。

### 1. 省力化・軽労化・就労環境改善施設

浮体式係船岸、岸壁等の屋根、船揚場改良 等

### 2. 有効活用促進施設

防波堤潮通し、港内の増養殖場、陸上養殖用水・排水施設、**既存施設の増養殖施設への改良、港内・近接漁場の水域環境観測施設** 等

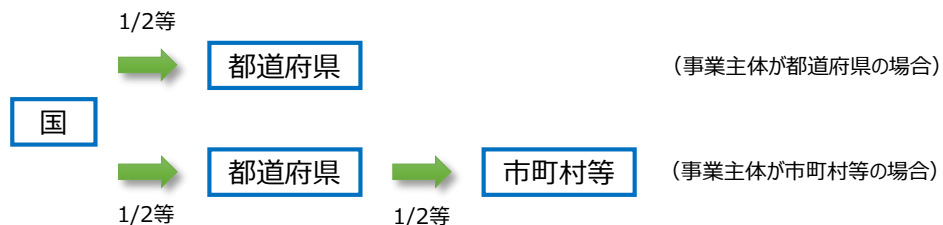
### 3. 漁港の強靱化施設、災害対応力の強化

防波堤嵩上げ、防潮堤改良、機能保全計画の見直し、**災害後の土砂等の撤去** 等

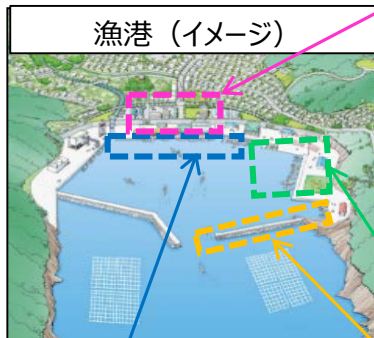
### 4. 資源管理・流通高度化施設

岸壁、荷さばき所等の衛生管理設備、出入管理設備、換気・浄化設備、**体温測定設備、再生エネルギー利用施設、密漁等監視施設** 等

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



### 【資源管理・流通高度化施設】

- 岸壁、荷さばき所の出入管理ゲート

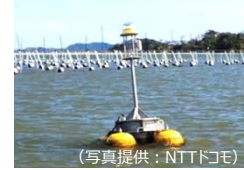


### 【有効活用促進施設】

- 陸上養殖用水・排水施設



- 港内・近接漁場の水域環境観測施設



### 【省力化・軽労化・就労環境改善施設】

- 浮体式係船岸の整備による陸揚げ作業の軽労化



### 【漁港の強靱化施設、災害対応力の強化】

- 防波堤嵩上げによる越波防止
- 災害後の土砂等による漁港機能の回復

